

「クリエイティブで世界を変える」 ソーシャルコミュニケーションの可能性

近年、クリエイティブな活動を通して社会貢献を実現している人々が増えています。
その目的は何でしょうか。また、そこにコミュニケーションの新たな可能性があるのでしょうか。
今回のOACクリエイティブフォーラムでは社会貢献の実践者であり第一線のクリエイターでもある
講演者の方々をお招きして、その情熱の源泉とクリエイティブが生み出した成果について
パネル形式でお話いただきます。



福島 治 Osamu Fukushima

一九五八年広島生まれ。日本デザイナー学院広島校卒業後、浅葉克己デザイン室、広告代理店ADKを経て一九九九年福島デザイン設立。東京ADC賞、JAGDA新人賞、カンヌ国際広告祭ゴールド及びブロンズメダル、メキシコ国際ポスタービエンナーレ金賞、NY FACSTIBAL銅賞、ブルガリア・ステージポスタートリエンナーレ第三位、国際ポスタートリエンナーレヤマ・グランプリなど数多くの賞を受賞。ライフワークを「デザインにおける社会貢献の可能性」として障害者アートライブラリー「アートビリティ」の活動支援を始め、ユニセフ祈りのツリープロジェクト、JAGDA東北復興支援チャリティ「やさしいハンカチ展」など数多くのソーシャルプロジェクトの企画、実施を行っている。また、独自の教育方法によって、読売広告大賞で三年連続グランプリを始め、学生に三〇以上の賞を受賞させている。東京工芸大学デザイン学科教授
<http://www.fukushima-design.jp/>



並河 進 Susumu Namikawa

一九七三年生まれ。電通ソーシャル・デザイン・エンジン所属コピーライター。ユニセフ「世界手洗いの日」プロジェクト、ユニセフ祈りのツリープロジェクトなど、ソーシャル・プロジェクトを数多く手掛ける。DENTSU GAL LABO代表。ワールドシフト・ネットワーク・ジャパン・クリエイティブディレクター。宮城大学、上智大学院、東京工芸大学非常勤講師。受賞歴に、ACCシルバー、TCC新人賞、読売広告大賞など。著書に『下駄箱のラブレター』（ポプラ社）、『しろくまくん どうして?』（朝日新聞出版社）、『ハッピーバースデー3・11』（飛鳥新社）ほか。



山名清隆 Kiyotaka Yamana

ソーシャルコンテンツプロデューサー (株)スコップ代表取締役社長 一九六〇年静岡県菊川市生まれ。国際博覧会ディレクター、米国食文化情報誌編集長、テレビ番組キャスターなどを経てスコップを起業。社会的動機を高めて主体的に連携を生み出すSOCIMO(ソーシャルモチベーション)マネジメントを提唱。日本愛妻家協会、東京スマートドライバー、おもしろライト運動など、創造性と元気が広まるコミュニティをプロデュースしている。【表彰】国土交通省「優秀技術者表彰」 総務省「地域づくり総務大臣表彰」【報道】CNN、CBS、CSM、NHK、ARD、E F E ほか【講師】東北芸術工科大学非常勤講師 神戸大学特別講師【URL】(株)スコップ<http://s-cop.jp>

開催日時

3月25日(月) 午後1時30分～4時30分

会場

会場名：富士ゼロックス お客様価値創造センター
住所：〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目6番1号
みなとみらいセンタービル4F

参加料金

OAC会員社	1,800円	一般社会人	2,000円
OAC会員学生	1,000円	一般学生	1,500円

参加申込：3月19日締め切り

お申し込みはFAXもしくはメールで。会社名(学校名)・氏名をお書きいただき、OAC会員の場合はその旨をお書きください。

FAX 03-3561-1221 [✉ mikami@oac.or.jp](mailto:mikami@oac.or.jp)



JR東京駅	東横線	24分	みなとみらい駅	みなとみらいビル	みなとみらいビル
JR新横浜駅	東横線新横浜線	31分	みなとみらい駅	みなとみらいビル	みなとみらいビル
京急羽田空港駅	京急東横線	20分	みなとみらい駅	みなとみらいビル	みなとみらいビル